



# 『盈たして進む』

## 伝統行事「えいしんまつり」開催!!

11月30日（木）、30年以上も続く伝統行事『えいしんまつり』を開催しました。インフルエンザの影響が心配されましたが、保護者の皆様のおかげで、流行を最小限に抑えることができ、コロナ禍以前の「体育館での全員会食」で行うことができました。



### とみえ認定こども園年長さんとの交流

#### ◇思いやりの心もち、相手の立場に立って行動する。

1・2年生は、20名を超えるとみえ認定こども園の年長さんと『ふれあい遊び』の交流でした。生活科の時間などを使って魚釣り、輪投げ、ボウリングなどのおもちゃを作ったり、遊び方の説明などを練習したりして、園児のみんなが楽しんでくれるよう準備を進めました。

「わかりやすくせつめいできた。」「年長さんがえがおであそんでくれたのがうれしかった。」「らいねん1年生で来たとき、たすけてあげる。」と大満足で話す1・2年生でした。

### 老人会の方々との交流

#### ◇時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって人と接する。

3・4年生は、山下・黒瀬地区の老人会の方々と『ペタンク』での交流です。昨年同様、風が冷たい運動場に心配していたのですが、「冬じゃもん、寒かったい!」の一言。(ごもつともです。)何となく分かってはいましたが、『師匠』は寒さに強い。そして、上手い!



「よしよし、あが、上手かじゃん。」「どら、こがんとたい!」『師匠』に教えを請いながら、歓喜の声を上げる『弟子』たち。たくさんの方々のことを学ばせていただいた3・4年生でした。

### そばづくり

#### ◇多くの人からの支えに感謝することができる。

#### ◇同じ目標に向かって協力して活動する。

この行事のメインは、やっぱり5・6年生のそば作りです。

2日間にかけて、『そばづくりの名人達』をお招きし、練り・延ばし・切りなどの作業を教わりました。保護者にもサポートしていただきながら、進めていきます。そして、だんだんと難しくなっていく作業に「まんべんなく踏んで!」「同じ方向で延ばすな!」と叱咤激励が入ります。子ども達の中にも、毎年家庭で作っているというベテランもいれば、そば粉を触ったのも初めてというビギナーもいて、その子に合わせて教えていく『名人達』に地域の温かさを感じました。目標の300食も達成です。



子ども達が奮闘する傍ら、出汁や具材の準備、茹で上げなどに頑張っていたいただいた保護者の皆様、種播きから焼き芋まで何でも協力して下さったJA青年会の方々、そして、ふれあいの大切さを感じさせて下さった老人会やこども園のみなさん、本当にありがとうございました。今年もまた、ニコニコしながら焼き芋を頬張っていただけの私でした。

